

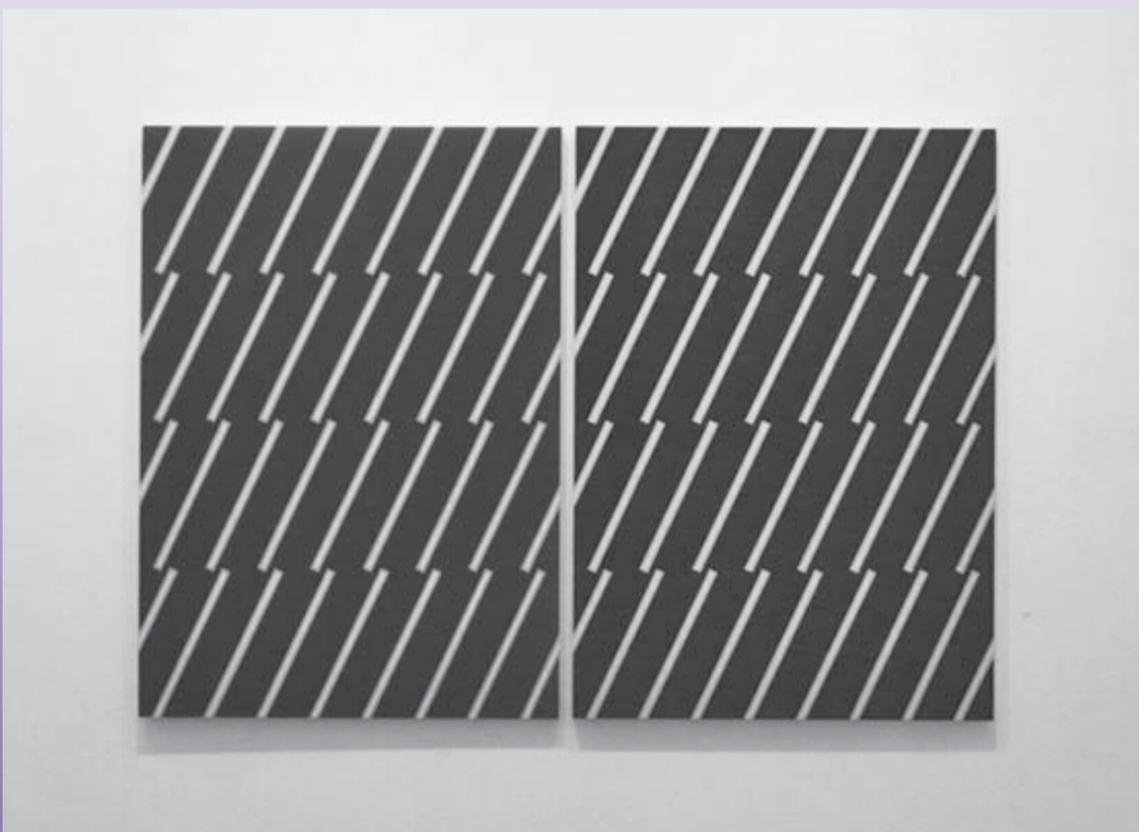
一ノ宮 佳邦 展

4月25日(土)～5月10日(日)

■今回の展示について■

★前回2007年に久我記念館で展示を行いました、今回はそれ以降の新作を展示致します!

『ストライプ』シリーズと、『Hatching(線影)』シリーズの更なる進化をお楽しみ下さい!!



ともに育てる須恵
須恵町を未来に残すために

No.01

須恵町の総面積は16・33平方キロメートル。東部と北部には若杉山と岳城山、北西部と南部には平野が広がり緑豊かな町です。このような町とそこに住む人たちの環境と安全を守り、須恵町を未来に残すために、自らの意思で活動をされている人たちが大勢いらっしゃいます。



すみずみまで行われます

そこで、今回から、その活動を続けられている人たちを紹介します。

第1回目は、JR須恵駅の駅前広場周辺の清掃活動をされている今泉敏英さん(甲植木区・60歳)です。

▼活動内容は

活動は約3年前ほど前から始められました。早朝に、JR須恵駅前の駅前広場から西鉄バスのバス停付近までの間のゴミ拾いをされています。小雨くらいであれば傘を手にして行われています。

▼きっかけは

朝起きるのが早くて時間ももったいなく、また、運動も兼ねて始められました。

▼活動を始めて感じたことは

夏の時季と金曜日や土曜日が、やはりごみが多いそうです。今泉さんは「ここ(須恵駅)は、多くの人が利用される町の玄関口なので、いつもきれいであればいいなと思います。」と話されました。



朝早く活動される今泉さん

築は

考古学

29

消防あれこれ

役場の駐車場に、役目を終えた一台の消防車が停まっています。甲植木分団のポンプ車です。絵本『しょうぼうじどうしゃじぶた』でおなじみのジープ型の消防車ですが、現在は製造されていないようです。走る



消えゆくジープ型消防車

「じぶた」が見ることができると、現在使われている車両までかもしれません。資料館には、消防に関する資料が収蔵されています。そして、手押しの消防ポンプが歴史民俗資料館の収蔵資料にあります。

「竜吐水」と「腕用ポンプ」です。「腕用ポンプ」は江戸時代から、「腕用ポンプ」は明治時代から日本で使われてきました。特に、腕用ポンプは、現在全国各地で修理して復元され、住民の防災意識を高めるために使用されているようです。(啓)